

東田利町報

No. 293 昭和54年8月1日発行 昭和42年7月21日第3種郵便物認可 毎月1日発行



No 293

8/1

《町内一の葉たばこ団地―田の沢》

昨年、第二次農構で開畑された田の沢地区（松柴）に、今春から葉たばこが植え付けられています。

畑面積は 6.4 ha ですが、初年度とあって専売公社からの植え付け許可面積は 3.6 ha。一団地の規模としては町内一で、55年度には全面積に植え付けられる予定です。

5月初めに移植された小さな苗は大きく生長し、芯止め、土葉の収穫作業に汗を流す農家の表情も明るく、作業にも一段と力が入ります。

（町報 281号（53.8.1号）の表紙写真―造成中―と見くらべてみてください。こう変りました。）

小松現町長が無投票で4選

町議会議員
補欠選挙

は畑山氏が当選



東由利町全体が山地の多い町であり、地勢上環境整備の遅れた集落が多い。この度の選挙で、町内をくまなく廻らせて貰いましたが、この四年間で、町全域にわたって計画された各種の事業が活発に実施されつつあり、これらの計画が完成された時は、へき地、過疎というイメージから脱却し、私達の東由利町は、誇りと愛情が持てる郷土に成長する事に確信を深くし

八月十九日任期満了に伴う町長選挙並びに欠員一となつてゐる町議会議員補欠選挙は、七月二十一日に告示され、翌日午後五時で立候補の届出が締め切られました。その結果、町長選挙には小松栄男現町長以外に立候補の届出がなく、二期目に続いて無投票で四期目の当選が決まりました。



畑山清一氏

以外に候補者がなく、両氏の一騎打ちとなりました。投票は、七月二十八日に町内十三投票所で一斉に行われ、即日開票の結果、畑山氏が遠藤氏に三百二十二票の差をつけ初当選を果しました。

今回の選挙は、町長選は無投票となり、町議補欠選挙候補者がいずれも旧下郷地区のためか、全町的な選挙ムードも今一つ盛り上りを見せず、投票率の低下が心配されました。しかし結果は、男子が六八・六三票、女子が七一・三八票、全体で七〇・〇五票と、大方の予想を上回る成績となりました。

今回の選挙は、町長選は無投票となり、町議補欠選挙候補者がいずれも旧下郷地区のためか、全町的な選挙ムードも今一つ盛り上りを見せず、投票率の低下が心配されました。しかし結果は、男子が六八・六三票、女子が七一・三八票、全体で七〇・〇五票と、大方の予想を上回る成績となりました。

長に初当選、今回が四期目。町社会福祉協議会長。本荘由利地区農業改良普及協議会長。秋田県町村会副会長。館合字館前三三(宇戸坂)。六十四歳。

四度目の就任に当って

町長 小松 栄 男

考えています。農業構造改善事業による余剰労働力の農内燃焼は、拡大部門の選択と水田再編の中で進めなければならぬ。農外への吸収は、流通、交通の条件に支配される。時間的流れを考慮に入れなければならない。農業のビジョンを示せとよ

場からどうするかを検討したい。畜産は、意欲が盛り上っている時期である、当業者専門家の御意見を聴いて、より積極的に進めて行く。林業は苦しい時期であるが、国の指導と助成施策が強化されているので、各制度を利用

して林業の町にする努力が必要である。文教施策は、教育内容の充実と、老朽校舎の解消である。教育委員会、学校、PTAと協力し、教育情報の少ない本町の教育内容を高めたい。老朽校舎の統合改築は、教育自体からの観点に立つて、子どもを持つ親の皆さんをはじめ、町民の合意を願って進めたい。

保健衛生は、人間生活の文明度の問題である。個人の健康管理と保健衛生上の社会的環境の向上。福祉は、老、幼と、社会に取り残される人々の立場に立つて、心と共に進む福祉施策。社会教育は一般行政の各部門に関連を持ちながら、明日の東由利町へのガイド役を願いたい。由利雄勝平鹿の接点に、ポ

この度、町民の皆様から四度目の首長就任の栄を与えられ、衷心より光栄に存じています。国政は高度成長より低成長と変わり、石油の問題もありますので、これからの町村行政には難しい要素がたくさん出て来ると思っています。皆様の御協力を願って、これまで以上に東由利町発展に努力する考えでありますので、よろしくお願い申し上げます。

町消防
訓練大会

雨の中訓練の成果を競う

第五分団が総合優勝

今年の町消防訓練大会は七月十二日、台山グラウンド、町開発センター前駐車場で行われ、五カ分団二百二十五名の団員が力強く競技を展開したほか、一つの私立消防団及び三つの婦人消防団が日頃の訓練の成果を披露しました。

ドから開発センター前駐車場に変更されました。石渡副団長の指揮のもとに整然と隊列を組んだ団員たちは、名譽統監である町長の観閲を受けたあと、佐藤団長の訓示を受け、競技を開始。

まず消防操法（一五〇秒の制限時間内に点検から吸管、放水管装着、エンジン始動、放水開始等の一連の操作を行うもの）競技に入り、二十五班百三名が指揮者の号令を受



きびきびした動作からは、住民の財産と生命を守る消防人の心意気が強く感じられる

け、雨にぬれながらもきびきびした動作で小型ポンプや自動車ポンプ操作に取り組んでいました。

悪天候の中で真剣に競技し合う団員の姿からは、住民の身体と財産を守る消防人の心意気が強く感じられ、来賓や参観者から大きな拍手が贈られていました。

こうした団員の熱気に負けず、昼前には雨も上がり、午後には台山グラウンドで通常点検及び小隊訓練（制限時間五分で一定の隊列行進や分散、整列の出来具合を競うもの）競技を実施、九部二百十八名の団員が号令に合せ、日頃の訓練の成果を競い合いました。

尚、消防操法競技終了後には、大吹川私立消防団、大琴

市郡消防訓練大会

二年連続総合で二位

また、七月二十五日、本荘市、本荘公園前広場で開催された市郡消防訓練大会には、各部の第一位分団が出場し、各市町村代表の消防団長と技を競い合いました。

結果、各部に上位入賞を果たし、総合でも昨年に続いて三位となり、町消防技術が郡

工事発注状況	
●新沢地区簡易水道工事	6月21日～7月20日
・工事費 一、四八六千円	・工事費 一、五一〇千円
・請負業者 エタニツト建	・工事内容 延長一四七
・工事期限 設(株)東北支店	・請負業者 東北ニチレキ
●沼地区簡易水道工事	・工事(株)秋田出張所
・工事費 一七、四六〇千円	・工事期限 八月十日
・請負業者 佐藤土建	●克雪管理センター前庭舗装工事
・工事期限 九月三十日	・工事費 一、六三〇千円
●新沢線道路舗装工事	・舗装面積 五六三平方
・工事費 五、六五〇千円	・請負業者 前田道路(株)秋田出張所
・工事内容 延長六〇〇	●湯出野線道路舗装工事
・請負業者 日本舗道(株)仙	・工事費 一七、九〇〇千円
・工事期限 八月十日	・工事内容 延長一、三四四・五
●寺田湯出野線道路舗装工事	・請負業者 日本舗道(株)仙
・工事費 一、六三〇千円	・工事期限 九月二十五日
・工事内容 延長一〇〇	●須郷農道整備工事
・請負業者 日本舗道(株)仙	・工事費 八、五六〇千円
・工事期限 八月十日	・工事内容 延長二八二
●台山線道路舗装工事	・請負業者 廣川工務店
・工事費 一、八四〇千円	・工事期限 十月三十日
・工事内容 延長一〇五	●集落道天下線道路改良及び農業排水施設改良工事
・請負業者 日本舗道(株)仙	・工事費 四〇、〇五〇千円
・工事期限 八月十日	・工事内容 延長九二〇
●西久保線道路舗装工事	・請負業者 佐々木組
・工事期限 八月十日	・工事期限 十二月二十五日

町議会第四回定例会は、六月二十五日に招集されました。開会に先立ち町長の町政報告があり、続いて会期を同日一日限りと決定、一議員による一般質問のあと、昭和五十四年度一般会計補正予算など報告三件、陳情四件を含む十四案件を審議、いずれも原案どおりに可決し閉会しました。

町政報告と一般質問の要旨及び議決された案件等は次のとおり。

四月以降の町政についてご報告をしたいと思ひます。

〈宿小學校體育館建築關係

〈宿小學校體育館建築關係

宿小學校体育館及び給食施設の建設事業の進捗状況は、予定ですと現在、基礎筋及び基礎枠の作業中であることに

なっていますが、先般来の雨のために根掘りに水がたまり若干工程が遅れています。現在、基礎筋の組み立て準備中の段階です。

建設課関係

建設課関係の各工事の入札及び契約状況を申し上げます
四月十二日に寺田湯出野線
これは村上建設が落札しまし
た。同日西久保線―佐藤組、

田代線―佐々木組。五月九日には大谷地線―柳沢建設、台山線―村上建設。六月六日には坪倉線―佐藤組、新沢線―長谷山建設、この新沢線の契約金額は三千八百三十万円になつていきますので、今議会に契約案を提案しています。六

月十五日には新町線―村上建設。以上を発注契約をしました。

災害復旧関係ですが、全部で七カ所発注しました。

町道一カ所、河川四カ所、林道二カ所。業者は、佐々木組が二カ所、広川組が二カ所、長谷山建設、佐藤組、村上建設が各一カ所ずつ受注している。

次に町道の舗装ですが、これはまだ発注力所がありません。明後日二十七日に、新沢線、寺田湯出野線、西久保線、台山線、それに克雪センター前庭を入札する予定です。

〈産業經濟課關係〉

次に産業経済課関係ですが、懸案の水田利用再編対策の減反の実績です。

目標は百二十九畝、書類上で提出された減反計画面積が百六十七畝で、百二十六畝になつていきます。去る六月十八日から二十日までに現地確認をしました、まだその集計ができていません。後日ご報告申し上げます。

数にして七万六千四百五十九俵で、これは昨年に比較して九百九俵の増です。それだけ昨年よりよけい売れるということですよ。

ことです。

産経課で計画しています。牧道沢中線、これは、今日の契約の提案に出ておりますけれども、正式な名称は「団体営草地開発事業」の道路整備事業で、延長九百二十〇、幅員五・五〇。これは四千三百四十万円で佐藤組に落札されています。

県営圃場整備事業ですが、全体事業約四億円は、全部はまだ発注されておりませんけれども、面工事、時雨山・高戸屋、これは三十二・三〇〇あり山勇建設、地下の沢・石高田代、これは三十二・四〇〇あり大沼組がそれぞれ受注しています。工期は、五月二十日から十一月三十日となっています。

この県営圃場整備事業ですけれども、いろいろ打ち合わせが不十分な関係からしてクレームが出る可能性が充分あります。そういうことを考えまして、圃場整備関係一切の関

係者を集め協議会を開きました。受益者代表、業者両方の責任者、それに土地改良区からは理事長、職員、由利の土地改良課からは課長補佐、係長、主任、設計担当の土地連職員、町からは町長、助役、産経課長、建設課長が出席し今後起こりうるであろう可能性のあるいろいろな問題について協議した次第です。

〈県営農道事業関係〉

次に県営農道事業につきまして、現在町として把握している内容について申し上げますと、石高農道は、本年の予算が三千二百万円、これは公共予算が決定されました際に議会に報告していますけれど

も、この中で工事費は約三千万円です。二百万円は、事務費等で、三千万円中約半分が災害復旧分、約半分が舗装分です。

農免道路の根小屋一期工事は、今年度予算が一億円。工事費は九千二百万円、のうち七千万円が残工事改良分千八百十四万円を完成し、残額約二千二百万円で舗装を実施する予定です。

根小屋二区ですが、本年度の予算は五千八百七十万円です。工事費は三千八百万円です。残は、事務費及び補償費で、この工区の延長は五百六十メートルが予定されています。

軽井沢線については、まだ
詳細がわかっておりません。

八塩開拓道路は、本年度の予算が六百万円。工事費は五百四十五万円、工事区間は百五十^{メートル}の予定です。

このほかの公共事業予算の発注内容については、情報が入り次第、又、情報を取りまして調査の上、報告したいと思ひます。

尚、明年度以降の事業を今計画すべきものは計画する段階に入っていますけれども、かねがね懸案でありました高村線、新沢線、これをなんと

か町負担が出来ただけ僅少で、しかも早期に着手、開通、完成が出来ないか検討してきたわけですが、両方とも農道で採択する方向に現在検討している次第です。

新沢線は山村振興関係の農
道事業、高村線は農免農道、
ということで今考えています
明日、この両線について農政
局から現地調査に参ります！

今回の予算では調査設計費を計上していませんが、今後機会を見て、この調査費、設計費を提案したいと思います。

今のところ、はっきり確信を持って実現可能とは申し上げられませんが、しかし

従来までの経験からしますと可能性があるという具合に考えられるのではないかという感じをしています。

最後に申し上げたいと存じますが、本年も、本六月をもつて半ばが過ぎるわけです。

また、私の任期もあとひと月余りとなったわけです。これまで、町の執行態勢が一体となりまして、国県の各制度を導入し、町発展に努力をして参りましたが、この間、議会の皆様におかれましては、是は是、非は非としながら、正すべきものは正しながら、町民民意の上に立ちまして積極的にご協力をたまわりましたことに心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

また先般、県の町村会の役員改選がありまして、不肖私
が副会長に選任されました。
任期は二カ年でございます。
ご報告を申し上げ、よろしく
お願いします。

以上をもちまして、町政報告を終わります。

可決された案件

〔国民健康保険税条例の一部改正〕

所得額や資産税を基数に五十四年度の国保税を賦課するために必要な税率に改正したもので、所得割が百分の四・九五を百分の四・七に、資産割が百分の三五・二三を百分の三〇・九〇に、均等割（一人当り）が九千七百二十円を九千九百五十円に、平等割（一世帯当り）が一万六千七百六十円を一万二千八百四十円にそれぞれ改正され、課税限度額も十九万円が二十二万円に

引き上げられた、などが主なもの。

〔町牧野使用料徴収条例の一部を改正〕

放牧料金を改正したもので、一頭一日につき、月令六月以上十二月未満は三百円以内、月令十二月以上は四百円以内、親子は五百円以内、にそれぞれ改められた。

〔町有財産を処分することについて〕

農免農道根小屋地区道路改良事業に伴う道路敷地として、次の町有土地を売り払い処分するものとした。

- 一、財産の所在地・数量
 - ・東由利町宿字長根谷地内 一、一七八・五五平方メートル
 - ・東由利町宿字大台地内 一、五五六・八四平方メートル
 - ・東由利町宿字中台地内 四、一四三・〇〇平方メートル
 - ・東由利町宿字三ツ森下地内 三、八一〇・五二平方メートル
 - ・東由利町宿字寺山地内 一、一一二・〇〇平方メートル
 - ・東由利町宿字根小屋地内 四、八八四・〇〇平方メートル
 - 二、売り払い先
 - 秋田県知事 佐々木喜久治
- 〔町営土地改良事業の施行について〕
- 昭和五十四年度において、新農業構造改善事業による町営土地改良事業を次のとおり施行するとした。
- ・事業名
 - 大平地区農道整備事業
 - ・事業の内容

農道整備 二、〇四四

(橋梁一カ所)

・総事業費

一一一、七〇〇千円

〔町道新沢線道路改良工事請負契約の締結について〕

- ・契約金額 三八、三〇〇千円
- ・契約の相手方 長谷山建設 (代表者 長谷山清)
- ・工事の概要 延長八二〇メートル
- ・契約の方法 指名競争入札

〔団体営草地開発整備事業工事請負契約の締結について〕

- ・事業の種類 牧道沢中線道路改良工事
- ・契約金額 四三、四〇〇千円
- ・契約の相手方 佐藤組 (代表者 佐藤徳市)
- ・工事の概要 延長九二〇メートル

〔昭和五十四年度東由利町一般会計補正予算(第二号)〕

- ・歳入歳出予算の総額にそれぞれ七千六百八十八千円を追加し、歳入歳出それぞれ十九億八千二百二十五万四千円とした。
- ・歳出補正の主な内容は、次のとおり。
- ・担い手センター建築工事関係費 九百三万円
- ・大下線農道工事請負費 三千六百七十四万九千円
- ・沼、新沢簡易水道布設工事関係費 四千二百二十八万一千円
- ・保育作業道開設事業費補助金 百九十万円
- ・西山線用地測量等委託費 二百八十六万八千円
- ・ロータリー除雪車購入費

千八百九十万円

陳情・継続審議等案件

このほか、議会に対して陳情された、「新町部落東端の防火用水及び消防機械置場を早急に改修整備して下さることに付いて」、「農業基本政策の確立等に関する陳情について」、「昭和五十四年度産米政府買入価格等に関する陳情について」、「農業基本政策の確立並びに昭和五十四年度産米の政府買入価格等に関する意見書提出について」は、それぞれ採択、「老方中心部に流雪溝を早急に設置して下さることに付いて」は継続審査として建設常任委員会に付託、総務委員会に付託されていた「一般消費税新設に関する請願書について」、教育民生委員会に付託されていた「保育料軽減についてのお願ひ」は、それぞれ不採択となりました。

又、第三回臨時会で教育民生委員会に付託した「土地を取得することについて」は、当局側から取り下げの申請が同委員会に提出された旨の報告が川尻同委員長からあり、これを承認する議決がなされました。

尚、昼食休憩後の開会直後、小野(作)議員から、横渡及び若林の粗大ゴミ処理場の汚水対策について緊急動議が出され、採決の結果、動議が認められ、今後、議会及び町当局、関係機関等と現地調査の上に充分検討を加え、これに

一般質問

小学校統合問題など

三項目を問う

遠藤 正男 議員



三月議会で、小学校校舎の改築及び給食は統合と併せて実施するという教育委員会並びに町当局の説明だったが、その後今日に至るまで地区住民との話し合いもなされていないようだし、宿小が今年完成するとしてならば、来年度計画地区はどこなのか。

また、残る校舎の改築についても、議会とも協議されていないがどう考えているのか。

教育委員長 来年度からの学校建築、学校給食については町とも検討、協議中であり、これがまとまり次第、町長から議会に対して協議、提案がなされると思う。

尚、来年度の建築計画については、十一月末までに具体化しなければならぬと聞いているので、それまで具体化するよう努力したい。

町長 改築は統合とともに、給食は改築に併せて行なうという考え方は従来どおり変わらない。

他校の改築に関しては、只今の教育委員長さんの考え方と同じですが、これらの問題については、住民の意志を代表している議会の皆さん、教育委員会、町執行部が町一体の問題であるという認識に立ち、お互いの協力によって方向づけをしていかなければならないと考えるので、今後とも本町の学校問題がスムーズに解決できるよう、よろしくご協力をお願いしたい。

数年前より、開成学習研究所というようなものが、通信による学習を受けなければ希望する高校に入学出来ないとのふれこみで、名簿を持って主に中学二年生の各家庭を回っているが、この生徒名簿をこうした業者に学校が出しているのか。役場か、教育委員会か。

また、現在の中学校教育だけでは高校進学は無理と考えるか。

教育長 現在の中学校教育だけでは高校進学はできないというわけではない。昨年度の東中

の高校受験者は全員合格している。

名簿については学校しかないわけで、実際、生徒のいない家に電話がかけられている例もあり、業者が正確なものを持っているということには疑問に思う。

また、PTAの方には、こうした問題があった場合は、担任の先生に相談してもらおう、校長にも要望している。

人口流出がとどまらないう本町にあって、過疎対策の一つとして、町関係で消耗する物資、器材等の購入、修理等に町内商店、業者の参加を考えなければならぬと思うが。

町長 町予算で町内産業に最も影響するものは公共事業の発注であり、これは、事業を消化しうる限り町内業者に発注している。

一般予算の執行については、産業の発展を考えながらも、公費の運営なので効率性ということも共に考えなければならぬ。しかし、ご指摘の点については充分考えていきたい。と同時に、町内の業者は経済の原則を考え、売らなければならぬし、町もそうした指導を加えなければならぬ。また中核団体である商工会もそうした役割を担わなければならないと考える。

祝

敬老

思い出話に花咲く

多年に亘り社会に尽くして
こられた七十歳以上のお年寄
りを敬愛し、長寿を祝福する
敬老会が、六月二十七日、二
十八日の両日、町開発センタ
ーで行われました。

昨年は、全町の対象者を一
同に集め開いたものですが、

会場の隅々までいっばいで通
路が狭く、サーブスが行き届
かない、等の反省から今年は、
蔵・法内・宿・袖山地区と老
方・館合・田代・黒瀬地区の
二つに分けて開いたものです。

町ではこの敬老会に、昨年
より十八名多い四百六十九名
のおじいさん、おばあさんを
招待、町連合青年会の会員た
ちが地域分担をして家から会
場までの送迎をやってくれた
お陰もあって、全体の六十五
歳にあたる三百六名の方が元
気に出席しました。

会では町長(二十七日)助



元気で何より。まァいっばい……

金婚おめでとー町長か
ら記念品が贈られた



役(二十八日)が、長年にわ
たって町をささえてきたご労
苦に対する感謝とねぎらいの
ことばを述べるとともに、長
寿のお祝いを述べ、続いて、
町議会議員、由利福祉事務所
次長からお祝いのことばがあ
りました。

このあと、米寿を迎えられ
た太田ハルノさん(大吹川)
ほか五名の方に敬老祝金が、
今年八十歳になられた小野秀
治さん(下小屋)ほか二十九
名の方には額入りの記念肖像
写真と記念品が、また、結婚
五十年を迎えられた横山藤四
郎さん・サトさん夫婦(智者
鶴)ほか十二組には祝状と記
念品が、それぞれ町長から贈
られたほか、県からは、七十



袖山婦人会員の「岸壁の母」
についてホロリとさせられた

会場から千晶夫も飛び入り
「シラカバ」



五歳以上の方全員に敬老祝金
が贈られました。
式のあと祝宴に入り、町連
合婦人会員らの接待で料理や
婦人会員らの披露する唄
や踊りを楽しむ

いつまでもお元気で

東					西				
横網	佐々木	ユキノ	97	大 琴	横網	鈴木	錦一	93	沼
々	佐々木	ミネ	92	大 琴	々	畠山	子之吉	91	大吹川
々	小 松	キミ	91	下小路	々	佐 藤	アサエ	91	黒 瀬
大関	佐 藤	治吉郎	88	寺 田	大関	長谷山	キヨ	88	下 通
々	小 野	マツエ	88	宿	々	佐々木	ノエ	88	下 通
関脇	太 田	ハルノ	87	大吹川	関脇	佐 藤	アキノ	87	五海保
々	小 松	キヨ	87	高戸屋	々	大 場	イワノ	87	宮の前
々	小 遠	藤 太	87	新 処	々	鈴 木	寅次郎	87	袖 山
小結	菅 原	鶴三郎	86	八日町	小結	阿 部	清 一	86	横 渡
々	遠 藤	キノ	86	小 倉	々	梅 津	ヤ ス	86	大 琴
々	畑 山	タツノ	86	大 琴	前頭	高 橋	要太郎	85	下小路
前頭	小 松	廣 吉	85	高戸屋	々	高 橋	チヨノ	85	上 通
々	長谷山	平 八	85	宇戸坂	々	小 松	スハノ	85	中 通
々	佐 藤	マサエ	85	中 祝	々	阿 部	徳 助	85	岩 館
々	佐 藤	浅 吉	85	祝 蔵	々	遠 藤	徳太郎	85	新 処
々	阿 庭	マチノ	85	舟 木	々	小 野	勇 作	85	高 屋

蒙御免東田利町長寿番付

お酒をいただきながら、アト
ラクシヨンとして同婦人会員
の披露する唄や踊りに手拍子
を打ち、杯を汲み交し、昔の
思い出話に花を咲かせていま
した。

また、酔いが回るにつれ飛
び入りもあとをたたず出、自
慢ののどや、手品などを披露、
初夏のひとときを心ゆくまで
楽しんでいました。

金婚を迎えられたご夫婦は
次のとおりです。(53・9・15現在)

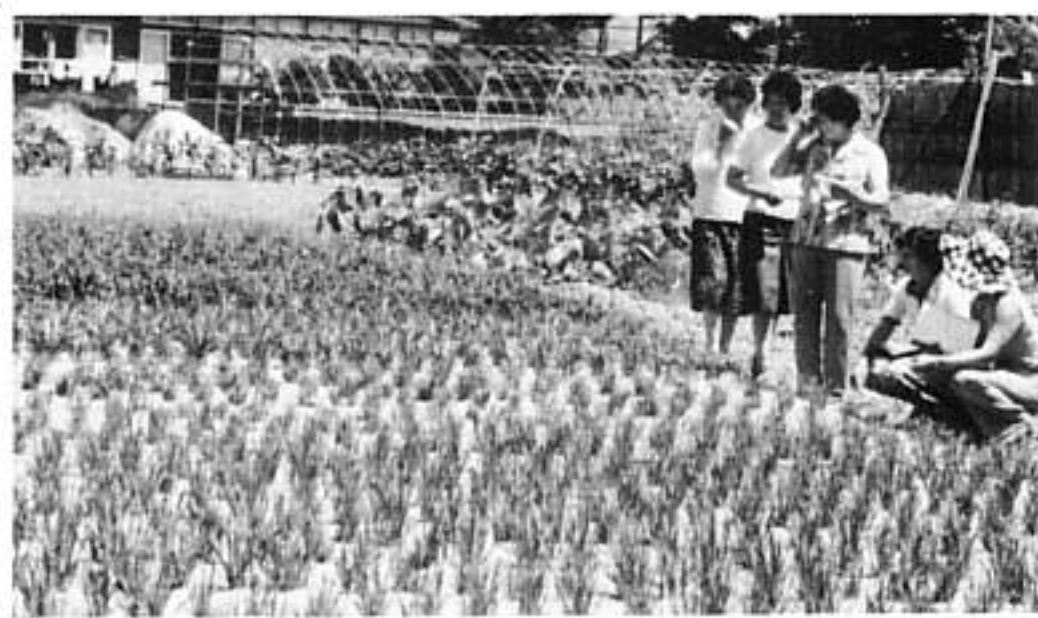
横山藤四郎	70歳	智者鶴	70歳	小松 直吉	72歳	田 代	72歳	小松庄治郎	76歳	松 柴	69歳	サヨ	69歳
遠藤喜代蔵	76歳	ヨシミ	72歳	遠藤 貞次	69歳	フクエ	67歳	佐々木正義	76歳	ミヨエ	66歳	浅田民一郎	74歳
伊東 林蔵	74歳	マサノ	74歳	遠藤 米蔵	79歳	クメヨ	72歳	小松鉄太郎	77歳	マツミ	70歳	長谷山長四郎	74歳
高橋八右エ門	68歳	ハルノ	67歳	小野 長悦	76歳	クニヨ	69歳	小松 長悦	76歳	ハルノ	67歳	高橋八右エ門	68歳
松 柴	68歳	ハルノ	67歳	小野 長悦	76歳	クニヨ	69歳	小松 長悦	76歳	ハルノ	67歳	高橋八右エ門	68歳
下 通	68歳	ハルノ	67歳	小野 長悦	76歳	クニヨ	69歳	小松 長悦	76歳	ハルノ	67歳	高橋八右エ門	68歳
横 渡	68歳	ハルノ	67歳	小野 長悦	76歳	クニヨ	69歳	小松 長悦	76歳	ハルノ	67歳	高橋八右エ門	68歳
岩 館	68歳	ハルノ	67歳	小野 長悦	76歳	クニヨ	69歳	小松 長悦	76歳	ハルノ	67歳	高橋八右エ門	68歳
野 田	68歳	ハルノ	67歳	小野 長悦	76歳	クニヨ	69歳	小松 長悦	76歳	ハルノ	67歳	高橋八右エ門	68歳
小 倉	68歳	ハルノ	67歳	小野 長悦	76歳	クニヨ	69歳	小松 長悦	76歳	ハルノ	67歳	高橋八右エ門	68歳
大 琴	68歳	ハルノ	67歳	小野 長悦	76歳	クニヨ	69歳	小松 長悦	76歳	ハルノ	67歳	高橋八右エ門	68歳
舟 木	68歳	ハルノ	67歳	小野 長悦	76歳	クニヨ	69歳	小松 長悦	76歳	ハルノ	67歳	高橋八右エ門	68歳

新しい経営の方向を探る

仙北・平鹿で農業視察

今年の農業視察研修は、七月二十日大曲市、神岡町、大森町で実施されました。この研修は、他町村の農業の実情を自分の目で確かめ、我が町の新しい農業の方向を考えよう、と、昭和五十一年から実施しているものです。

青年、婦人を中心とした一般参加者七十二名と、議会議長、農業委員会、教育委員、公民館長、分館長、並びに町、農協、共済組合の関係課長、職員で構成された一行は、午前八時過ぎ



→高収益をあげているニラ畑を視察



→名牛板錦に対応する種雄牛福谷一号に向ける農家の目は真剣



→農林水産園芸局長賞を受賞した大森町女郎出地区の転作大豆ほ場を視察

二台の貸切バスに分乗し農協玉米支所前を出発、最初の視察地大曲市の大川西根地区に向いました。ここは、施設園芸や露地による野菜、花木の栽培が盛ん

な、いわゆる近郊農業地帯であり、県営圃場整備によるパイプかんがい方式を取り入れたり、第二次農構でつけもの工場を設置し、市場に出荷したほかの野菜を加工出荷する

など、各種複合形態を取り入れ、意欲的に農業に取り組んでいるところ。一行は、県青年農業士で地区の農業後継者研修グループみどり会会長の深谷和義さん(32歳)から、約三十アールの畑に作付けしたホウレンソウ、ニラだけで五百万円の粗収入をあげているとの説明を聞く

と、"オー"と驚きの声とともに強い関心を示し、現地を見ながら、品種は？収穫回数は？などと活発な質問を寄せていました。

最後に、昨年の全国豆類経営改善共励会で農林水産園芸局長賞を受賞し、今年はさらにより成績をあげようと頑張っている大森町女郎出地区の転作大豆圃場を視察し、全日程を終えました。

このあと一行は、神岡町神宮寺の県畜産試験場を訪問。昼食休憩のあと佐々木大家畜部長から同場の概要説明を聞き、場内を視察しました。ここでは特に、水田利用再編対策として実施している比内鶏の草地放飼試験と、名牛

百頭以上の水田利用再編対策実施にもかかわらず、なお余り米を生ずる現実、実質ダウンといわれる生産者米価の二年連続据え置き決定となり、米作農家に大きなショックを与えています。

こうした厳しい情勢下にあつて今回の視察研修は、人それぞれに感じ方は違つても、やはりゆく農業構造の中で自分のめざす新しい経営の方向を見い出す、良い機会となつたようでした。

こうして厳しい情勢下にあつて今回の視察研修は、人それぞれに感じ方は違つても、やはりゆく農業構造の中で自分のめざす新しい経営の方向を見い出す、良い機会となつたようでした。

本荘由利六高生活指導連

絡協議会(理事長畑山潤一、賀保高校長)では、次のような「高校生の夏休み生活心得」を作り、夏休みという解放感から起こりがちな事故、非行を防止し、生徒の健全育成を図るため、地域の方々の理解と協力を望んでいます。

生活一般

- 1、外泊は厳に慎み、やむを得ない場合は保護者同士の同意を得る。
- 2、酒、タバコ、シンナー等

に手をつけない。

- 3、成人映画、パチンコ店、喫茶店等の出入りはしない。
- 4、交友は健全なものであること。異性との交友は軽率にならないよう努める。

特に女子は、不用意に誘

高校生の夏休み生活心得

本荘由利六高生活指導連絡協

- いのにらない。(乗用車同乗、異性宅訪問など)
- 5、服装、容姿は乱さず、頭髪は特殊な形にしない。(パーマ、額の深剃りなど)

- 許可の条件でおこない、遊びには絶対使わない。
- 2、自動車、バイクの無免許運転、バイク・自転車の二人乗りはしない。

交通安全

- 1、バイクの使用は、学校の
- 6、金銭の浪費、非行につながる遊戯やゲームは自粛する。

アルバイト

- 1、自動車、バイクを使うものや夜間労働、酒の用いる職場、重労働は禁ずる。
- 2、水泳場監視員等の責任の重いもの、危険のものなうものは学校と相談する。

同級会

- 1、酒を用いる会には出席しない。なお、喫煙は決してしない。
- 2、時間は夕方までには終る

水泳・登山・旅行

- 1、指定された水泳場以外の場所、夜間、単独の遊泳はしない。
- 2、登山、キャンプ、旅行は事前計画を綿密にし、無理のないものにする。実施中は公衆道徳をよく守る。
- 3、行き先、帰宅予定時刻、同行者等を家人に知らせてから出かける。

東由利 ふるさと祭り

- ・とき 9月1日
 - ・ところ 開発センター・台山グラウンド外
 - ・催物 町内伝統芸能発表・ピー玉など昔の遊び実演・カラオケのど自慢大会外
 - ・主催 東由利町連合青年会
- みんな誘い合って会場へ!

第二十四回町畜産共進会

粗飼料で飼養できる牛を

自慢の牛九十一頭が出陳



雨に濡れながらも、厳しい審査の目が注がれる

丹精込めて飼育した自慢の牛を一同に集め、資質、体型を競い合うとともに、お互いの飼養技術の向上、知識吸収の場として町の畜産振興に大きな役割を果たしている町畜産共進会は、六月二十六日に館

合字上の台・旧玉米中グラウンドで開催されました。当日は、前日來の雨が降り止まず、二十四回目にして初めての雨中共進会となりましたが、悪天候にもかかわらず昨年より十頭多い九十一頭が

出陳され、畜産にかける農家の熱心さがうかがえました。また会場には、出陳者ももちろん、出陳しなかった飼育農家も多数詰めかけ、雨ガッパを着たり、コウモリガサを片手に真剣な眼差しで牛を見つめ、個体解説に聞き入っていました。

今回出陳された内訳をみると、和牛七十五頭（育成牛十二頭、若牛十八頭、成牛十八頭、県外導入牛十二頭、繁殖雌牛群三（二）頭、母系系統群三頭）、乳牛十六頭（ホルスタイン種十頭、ジャージー種六頭）のいずれ劣らぬものばかりで、審査員も順位の決定に苦慮する場面もみられ、本町畜産農家の飼養技術が高い水準にあることを物語っていました。

審査員を代表した県中央家畜保健衛生所の石井衛生指導課長は、「……和牛については、充分に運動させて食いつきのよい牛、即ち、粗飼料で飼養できる牛をつくることに重点を置く必要がある。濃厚飼料の給与も、妊娠後期と分娩後だけにしよう努め、体重の〇・五割、〇・七割位を

目途として良質粗飼料で充分飼養できることにより連産させ、少なくとも十産を目標として飼養するように。乳用牛は、概ね資質良好で改良の努力のあとが顕著であるが、末だ肩付、背、腰、乳器付着等に改善の余地が感じられる。一般管理については、育成時代に骨を造るべき所を脂肪をつけすぎているものも見られたので、良質な粗飼料と運動を主体とする管理に重点を置くように……」と講評、今後尚一層の努力が期待されました。

上位入賞は次のとおり。

（○内は席次、所有者敬称略）
〈黒毛和種育成牛区〉

▽一等賞

①第六ふくひめ号 佐藤蔵治（津沢） ②第十一たいとう号 畑山喜一郎（館合新田）

▽二等賞

①第三ひめ号 伊東己之松（横渡） ②かねみ号 工藤太一（大琴）

〈黒毛和種若牛区〉

▽一等賞

①まさたけ六号 佐々木正千代（大琴） ②第三にしき号 大場六治郎（久保）

▽二等賞

①ふじひめ号 工藤辰五郎（久保） ②まるこう三三小松与惣雄（松柴）

〈黒毛和種成牛区〉

▽一等賞

①たかはな三三 佐々木昭男（大琴） ②つきよし号

圏域章図案募集

本荘 由利 広域市町村圏組合

本荘由利広域市町村圏組合では、広域行政センターの完成を記念し、圏域の象徴となる圏域章の図案を次により募集していますので奮って応募してください。

〈応募期日〉

8月31日（当日消印有効）

〈応募資格〉

本荘由利広域圏（本荘市由利郡内）に住所を有する者

〈作品の規定〉

①広域圏の特性等を象徴する図案とし、彩色は一色とする。
②作品は、郵便はがきに圏域章図案を書き、下部にそれについての説明を簡記すること。

〈応募宛先〉

本荘市出戸町字尾崎十七本荘市役所内 本荘由利広域市町村圏組合事務局 圏域章係

〈審査〉

広域圏章図案審査委員会において応募作品を審査、入賞作品を決定する。

〈発表〉

市町村広報等で行い、入選及び佳作者には本人あて通知する。

〈入賞〉

・入選一点 ・佳作十一点
入選者及び佳作者に記念品を贈呈する。

世界農林業センサス

ポスター・標語募集

農林水産省では、来年の二月一日（沖縄県は十二月一日）に行われる世界農林業センサスの「ポスター」「標語」を募集しています。

応募資格に制限はありません。（応募作品は未発表のものに限る）

締め切りは昭和五十四年九月三日となっています。用紙、内容、送り先など詳しいことは、役場企画室広報担当にお尋ねください。

昭和54年度第2次
2等陸・海・空士

自衛官募集中

・募集期間

昭和54年7月1日から
昭和54年9月30日まで

（ただし、日曜・祝日を除く）

・詳しいことは、役場（住民課）又は、自衛隊秋田地方連絡部本荘募集事務所（電話 01842 - 2 - 3479）へ

アメシロから緑を守ろう

防除機貸します

八月は、緑の大敵、アメリカシロヒトリの発生期です。日頃から回りの木々に目をひからせ、早期発見、適期防除に努め、私たちの大切な資源で

アメリカシロヒトリの生活史



ある「緑の自然」をアメシロから守りましょう。アメシロは、戦後アメリカ

からきた害虫で、小さなからだながらも大盛な食欲で、サクラやプラタナス、桑、もも

などの農作物にいたるまで食い荒してしまします。防除の方法としては、幼虫が果網に入っているうちに枝ごと切り落とし、焼き殺すかすりつぶすのが最も効果的です。そのほか、ディブテレックス乳剤の八〇〇倍液を散布する方法もあり、町では防除機を設備し、各自治会単位に貸出ししますので利用してください。

町長日記は
休ませていただきます

- 大場惣七（久保）
▽二等賞
①はるみ号 佐々木善一郎（大琴） ②とよひめ号 小野弘（下通）
〔黒毛和種県外導入牛区〕
▽一等賞
①はるいし号 畑山藤作（土場沢） ②なかつし号 小野長光（宿）
▽二等賞
①ことぶき三号 遠藤寅雄（下吹） ②もりしげ号 畑山忠己（土場沢）
〔ホルスタイン種〕
▽一等賞
①フイーンランドノーザンタレント号 大庭喜右エ門（舟木）
▽二等賞
①セジスヒフイティパークセシリア号 柴田浩（須郷田） ②バンガードブーツメーカー

- セジス号 伊東隆（蔵新田）
〔ジャージー種〕
▽一等賞
①ウイローロマンズジェスターシグナル号 畑山克司（島）
▽二等賞
①ブルボンアスターゼレブティ 遠藤五郎（館合新田）
〔特別賞〕
・たけはな号、つくだ2号、第四ふくひめ号 小松建一（山崎）
・みつひめ号、みつひめ一号、みつひめ四号 下田三太郎（久保）
〔団体賞〕
・肉用牛（東田利町長賞）
一位 大琴畜産改良組合
二位 久山地区和牛改良研究会
・乳用牛（東田利農協長賞）
一位 館合地区
二位 蔵地区

共 団体賞肉用牛 郡の部で二位

七月十八日、本荘家畜市場構内で開催された第十五回由利畜産共進会には、町共進会の上位入賞牛十三頭、及び高等登録群一組（三頭）が出陳され、厳しい審査の結果、黒毛和種若牛区で畑山喜一郎さん（館合新田）所有の第十一号、みつひめ四号 下田三太郎（久保）のを始め、一組、七頭が上位入賞を果たし、団体賞肉用牛の部でも二位となり、畜産東由利の真価を発揮しました。郡共進会での本町上位入賞者は次のとおり。（敬称略）
〔優等賞〕
・黒毛和種若牛区 畑山喜一郎（館合新田）

- 〔一等賞〕
・黒毛和種若牛区 佐藤蔵治（津沢）
・ジャージー種の部 畑山克司（島）
〔二位〕
・団体賞（肉用牛の部）
また、これと合せて多産牛（十産以上）表彰も行われ、本町の嶽石伊左武郎さん（山崎）所有のまさか号（十一産）、佐々木藤喜さん（大琴）所有のよし一号（十産）、長谷山松記さん（山崎）所有のてつひかり号（十産）、工藤トクさん（山崎）所有のみねよし号（十産）、小野一郎さん（館合新田）所有のさよこ号（十産）、鈴木謙二郎さん（地下の沢）所有のなかこ号（十産）もそれぞれ表彰されました。

第26回市郡射撃大会

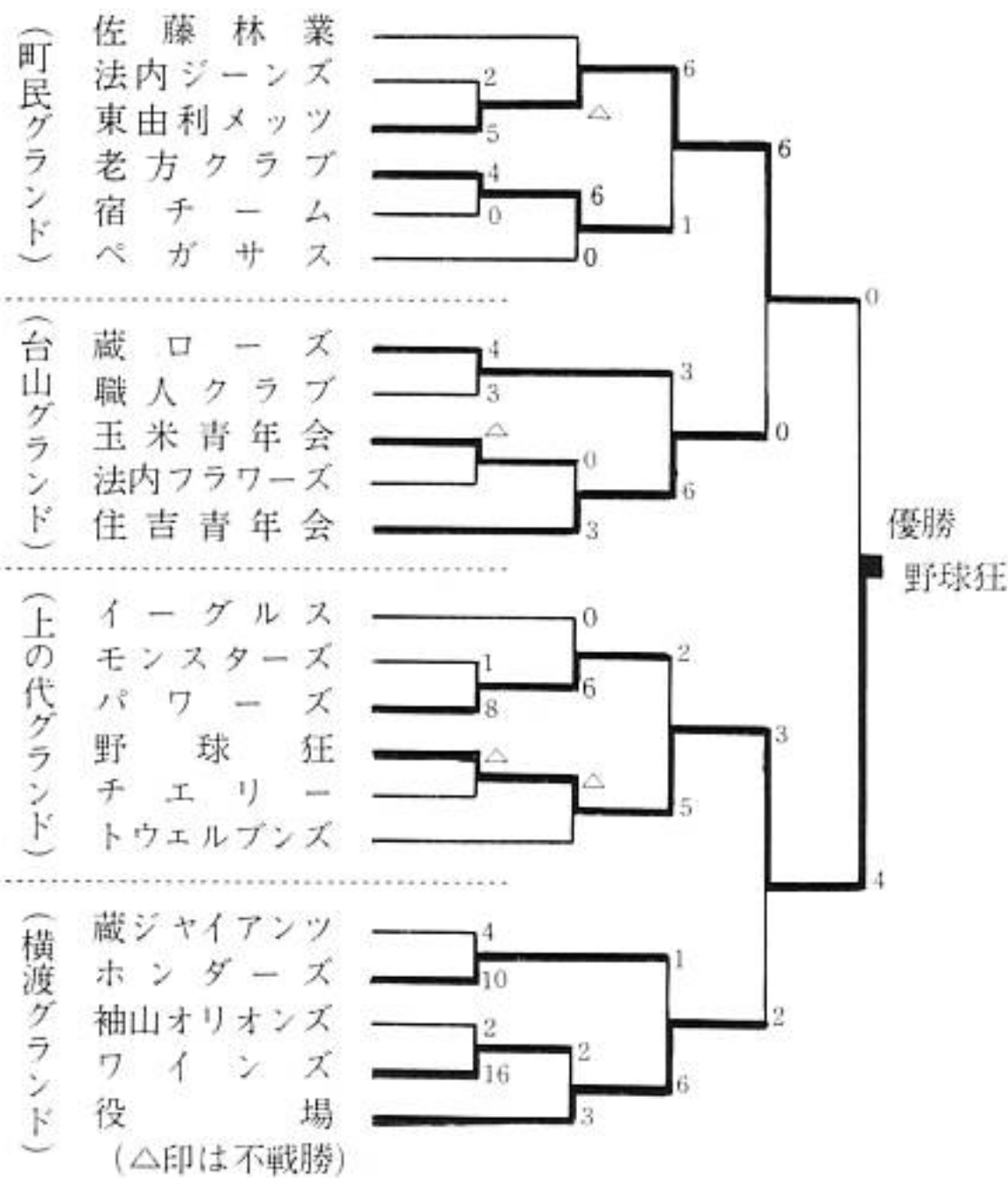
8月7日大平で開催

八月七日午前九時から由利連合猟友会（大庭昇之助会長）主催の第二十六回本荘市由利郡クレー射撃大会が本町の太平射撃場で開催されます。同大会には本荘市由利郡各

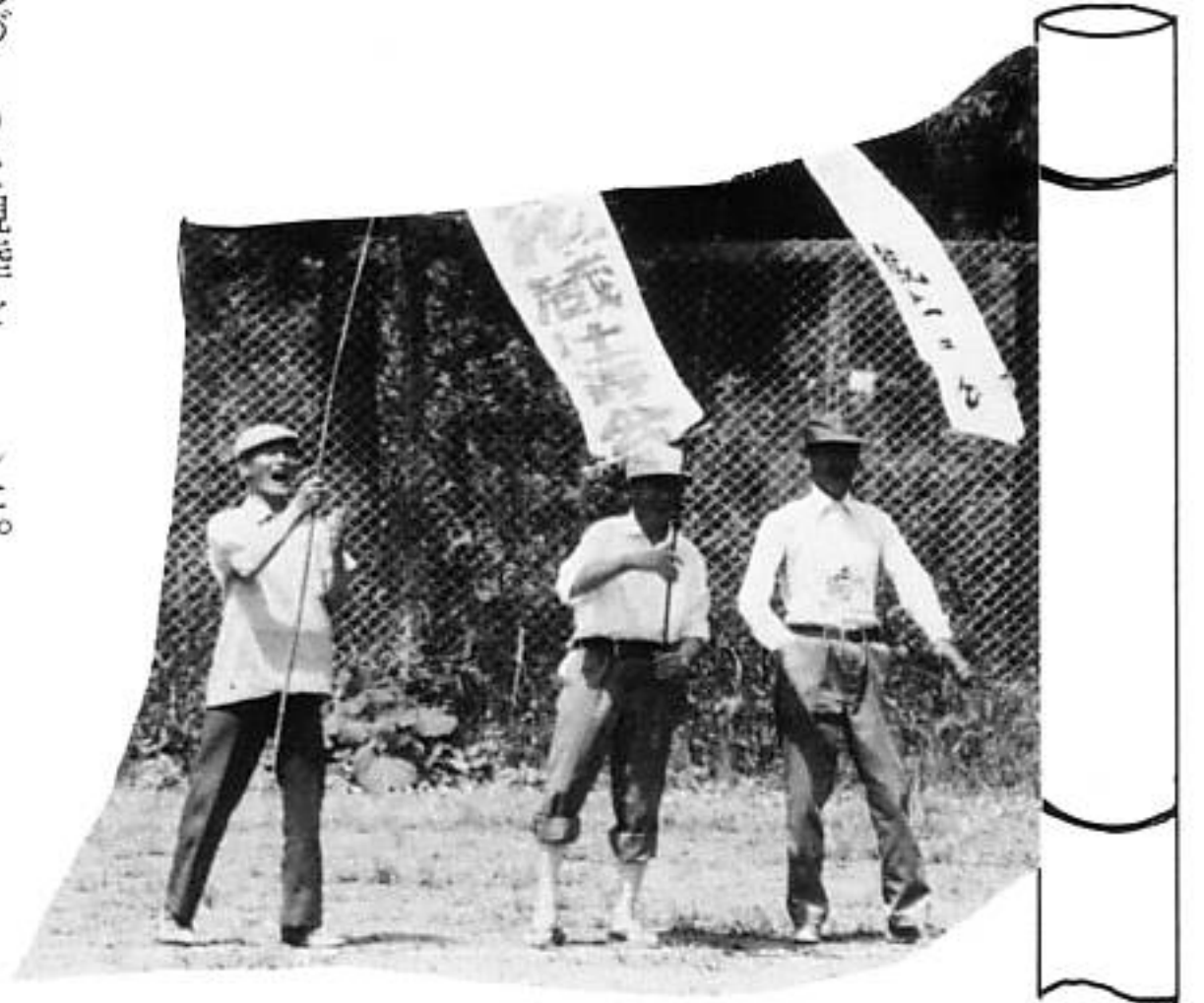
第二回春季社会人野球大会

野球狂が初優勝

第二回春季社会人野球大会は、昨年より四チーム多い二十二チームが参加し、七月一日から上の代グラウンド、台山グラウンド、町民グラウンド、横渡グラウンドを会場に開催されました。途中悪天候に見舞われ、日程も予定より延び、結局、準決勝、決勝は七月二十二日町民グラウンドで行われました。結果、昨年夏の覇者野球狂が、今春チームを結成したばかりながら並み入る強豪をくだしてきたメッツを四対〇で退け、春季初優勝を果しました。大会戦績は次のとおり。



第8回町球技大会



町民の体力づくりと親睦を図ることを目的に始められた町球技大会も今年で八回を数え、六月二十四日に台山グラウンドなど三会場で開催され、両チーム互いに譲らず一点を争う好ゲーム

当日は、前日までぐずつき心配された天気も落ちつき、一〇五チーム、一、一六〇人の選手が約三、〇〇〇人の応援を受けて、七種目に白熱したゲームを展開しました。

勝利に勝ち負けがあるのは当然ですが、最近この勝ち負けにとらわれすぎる傾向が強くなっているなどの声も聞かれ、ここでもう一度、初期の目的に立ちかえり、健康増進と地域連帯の輪を拡げ、親睦を図る絶好の場として、さら



若い者に負けないゾ
(老ク対抗ゲートボール)



ソフトボールも熱戦を展開

戦い済んで…部落の和が勝利を導いた

に発展することが期待されています。尚、各種目事の上位入賞チームには、大日向商會代表大日向貞弘氏から副賞の寄贈があり、喜ばれました。

- ① 宿 ② 玉米 B
- 〈ゲートボール・老ク対抗〉
- ① 蔵 ② 蔵 ③ 蔵 ④ 蔵 ⑤ 蔵 ⑥ 蔵 ⑦ 蔵 ⑧ 蔵 ⑨ 蔵 ⑩ 蔵 ⑪ 蔵 ⑫ 蔵 ⑬ 蔵 ⑭ 蔵 ⑮ 蔵 ⑯ 蔵 ⑰ 蔵 ⑱ 蔵 ⑲ 蔵 ⑳ 蔵 ㉑ 蔵 ㉒ 蔵 ㉓ 蔵 ㉔ 蔵 ㉕ 蔵 ㉖ 蔵 ㉗ 蔵 ㉘ 蔵 ㉙ 蔵 ㉚ 蔵 ㉛ 蔵 ㉜ 蔵 ㉝ 蔵 ㉞ 蔵 ㉟ 蔵 ㊱ 蔵 ㊲ 蔵 ㊳ 蔵 ㊴ 蔵 ㊵ 蔵 ㊶ 蔵 ㊷ 蔵 ㊸ 蔵 ㊹ 蔵 ㊺ 蔵 ㊻ 蔵 ㊼ 蔵 ㊽ 蔵 ㊾ 蔵 ㊿ 蔵
- ① 宿 B ② 老方
- 〈ゲートボール・婦人会対抗〉
- ① 宿 B ② 老方
- 〈九人制バレー・男子〉
- ① 玉米 B ② 住吉
- 〈九人制バレー・女子〉
- ① 老方 ② 宿
- 〈ソフトボール〉
- ① 玉米 ② 老方 B

初ママさんソフト開催

優勝はエラーズチーム



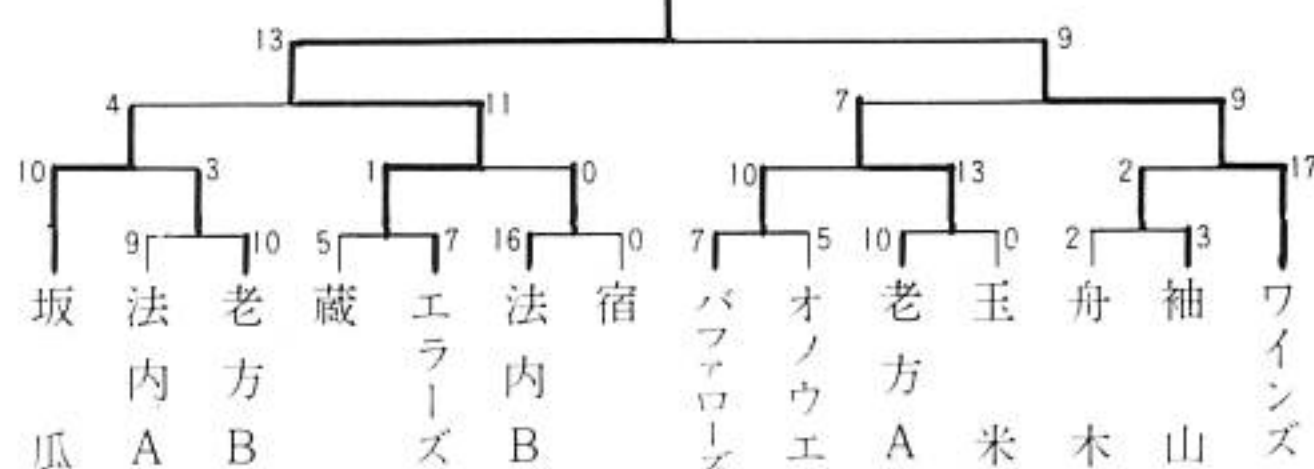
男子顔負けのフルスイングに盛んな声援が贈られる

第一回ママさんソフトボール大会は、七月二十二日台山グラウンドで行われ、職場や地域などの仲間で結成した十四チームが参加、時折小雨の降る中にファイトあふれる好ゲームを展開しました。

この大会は、町内青壮年女子の体力づくりと親睦を深めることを目的に町公民館が主催したものです。

当日は日曜日とあって、子どもたちやおとうさんたちも多数応援に詰めかけ、プレーの一つひとつに大きな声援を贈り、白熱したゲームをさらに盛り上げていました。

優勝・エラーズ



英和辞典ありがとう

東中学生徒会から町長に礼状

わかりやすい辞書で、楽しい身近な英語学習を——と、町では、町教育委員会、東田利中学校の先生方と相談し、東中全生徒に、三省堂出版の初級クラウン英和辞典を贈りましたが、この



町が贈った辞典

となく苦手意識の強いといわれる英語の学習が、この辞典との出会いによって得意の分野となり、将来は通訳なしでも外国に行くことのできるりっぱな国際人に生長するよう、関係者は期待しています。

だんだん暑さも増し、本格的な夏が訪れました。このたびは、英和辞典をいただき本当にありがとうございました。一年生は、なんともなんとも開いてはとじ、とじては開いて喜んでおります。私たちはこのご厚意を無にすることなく、英語の学習に力を入れたいと思います。本当にありがとうございました。

東田利中学校生徒会長

小野 隆

他一同

水は限りある貴重な資源

8月1日～7日は水の週間

「水の使用量は、文明の尺度」といわれた時代がありました。

生活水準が向上し、産業が盛んになるにつれて、水の使用量もぐんぐん増えることから、このようにいわれたのです。

とところが、今では、この「文明の尺度」も通用しなくなってきました。というのも、もはや水は「いくらでもあつて、いつでも好きなだけ使えるもの」ではなく、なってきたからです。

お金などの浪費をたどって湯水のように使う」といいます。このたとえは、水が無尽蔵にあった時代にはできたのでしようが、いまでは「死語」同然になりつつあるといつてよいでしょう。

これからは「水をどのようか」が、新しい「文明の尺度」となる時代です。

昔から、豊富な水に恵まれてきたわたしたちは、水をムダなく上手に使う節水の知恵工夫を、ややもすると怠ってきたのではないのでしょうか。

秋田県においても、昭和四十八年や昨年の夏の渇水時には、断水や給水制限に追い込まれるなどの苦しい経験をしたことは記憶に新しいところ

るです。

八月一日は「水の日」。この日から一週間は「水の週間」です。

この機会に、私たちの暮らしに一日たりとも欠かせない限りある貴重な資源「水」について十分考え、いま一度、その使い方を工夫してみる必要があります。

節水の工夫

蛇口 ひねり方
しだい



蛇口から出る水の量は、一分間に、ちよつとひねつて三分の一（約五割）、いっぱいひねると約二十五割、その差二十割の節水は、あなたの使い方しだいです。炊事など流

ある教育隊長賞を受賞したとの朗報が同隊からもたらされ、母校を始め、家族や関係者を喜ばせています。

同賞は、一般教養、訓練、素行、言語動作等総合的に特に優秀な隊員に授与されるものです。

長谷山君は、引き続き二十一普通科連隊に於いて教育を受けることになっており、一層の頑張り活躍が期待されています。

長谷山君に教育隊長賞

まじめな訓練・素行が評価

今春本荘高校下郷分校卒

業と同時に秋田陸上自衛隊に入隊、旧歩兵第十七連隊ゆかりの地（秋田市將軍野）で新隊員としての前期教育を受けていた本町田代出身の長谷山博昭君（19歳、長盛さん長男）が、同期百二十一名の中から栄え



●夏の交通安全運動
●飲酒運転追放強調
県民運動

8月1日～10日（10日間）

8月1日～31日（1カ月間）

重点

- 1 歩行者・自転車利用者、特に子どもと老人の事故防止
- 2 安全運転の推進と過労運転による事故防止
- 3 暴走運転の追放と自動二輪車等の事故防止
- 4 飲酒運転の徹底追放

洗たく
のため
すすぎ

家庭で使う水の中で、一番多いのは洗たく用です。洗たくもすすぎ方しだいで水の使用量がずいぶん違ってきますので、工夫してみましよう。すすぎの時間や回数にもよりますが、おおよそ、流しっぱなしのすすぎに比べて、水をためてのすすぎの方が、水の使用量は半分です。

しっぱなしで使うときは、蛇口のひねり具合を調節しましょう。



町の概要

人口総数	6,396人
うち男	3,141人
うち女	3,255人
世帯数	1,466戸
面積	148.51 km ²

(54.7.1)

小野さん県青年農業士に

四つの厳しい審査をパス

本町上里の小野勝徳さん（26歳、勝造氏長男）は、このほど百二十一人目の秋田県青年農業士に認定され、七月七日大曲市で行われた第十六回秋田県農業近代化ゼミナール大会の席上、佐々木知事から認定証書が交付されました。

この農業士認定制度は、自らが近代的感觉で農業を実践し、その優れた成果に基づいて地域農業青年の特志指導を

行い、農業者を農業士として認定し、地域農業の中核者としての活動と農業青年の指導育成に努めることを目的に設けられたもので、年齢等によつて青年農業士、経営農業士、指導農業士に分けられています。

書類・現地・面接・総合の各厳しい審査をパスして認定証書を手にした小野さんは、「まさか私が青年農業士に



認定証書を手喜びの小野さん

認定されるとは…。うれしいというよりもこれからが大変だなと感じています。今後は、この認定証書を汚すことのないようさらに努力したいと思うし、まだまだ未熟な者です。ので、関係者の方々の尚一層のご指導をよろしくお願いしたいと思っています。」

と喜びを語っていました。

わが町で初の県農業士誕生は、町内の若い農業青年に対し、新しい農業経営者となるための目標と大きな励みを与えることであり、小野さんはもちろん、こうしたあとに続く若者の今後の活躍が期待されます。

正しく使って

花火の事故に注意

楽しい花火

夏休みに入ると、花火遊びの機会も多くなりますが、不注意な取り扱いやいたずらから思いがけない事故や火事につながる可能性があります。遊ぶときは次のことをよく守りましょう。

- 一、花火に書いてある遊び方をよく読んで必ず守りましょう。
- 二、花火を人の家に向けたたり、燃えやすい物のある場所で遊ばないようにしましょう。
- 三、風の強い時は花火遊びはやめましょう。
- 四、大人といっしょに遊び、

消し水は必ず用意しましょう。

- 五、吹出し、打上げなど筒物花火は途中で火が消えても筒をのぞいてはいけません。
- 六、花火をポケットに入れないようにしましょう。
- 七、たくさんのお花火に一度に火をつけることは危険です。
- 八、花火をほぐして遊ぶのは危険ですからやめましょう。

（東由利分署）

食中毒に注意

本荘保健所

細菌による「食中毒」の発生は、例年七月から九月までが最も多い時期です。

この食品による事故は、ちよつとした注意で防ぐことができます。日頃から次のことに充分気をつけ、食べものや飲みものによる食中毒等の事故にあわないようにしましょう。

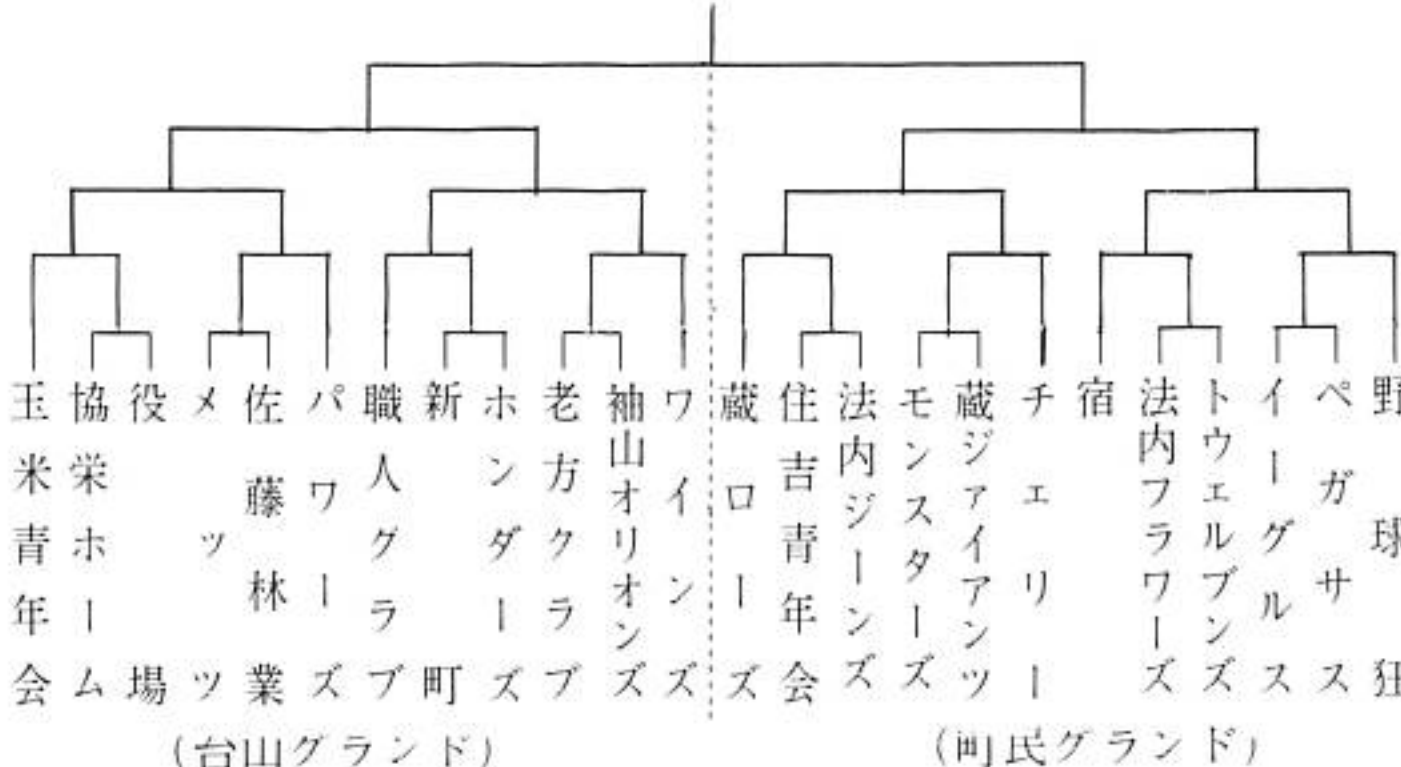
〈食中毒予防五カ条〉

- 一、新鮮な原材料を購入し、調理したものは早く食べる習慣をつけましょう。
- 二、冷蔵庫は、5℃以下を目安に管理し、清潔にしましょう。
- 三、台所で汚れやすいものの代表は、フキン、マナ板、包丁です。消毒しましょう。
- 四、魚が原因の食中毒は、よく水洗いし、十分熱を通す

第21回社会人野球大会

日時 8月16日～18日 午前7時～
場所 町民グラウンド・台山グラウンド

優勝？



(台山グラウンド)

(町民グラウンド)



誕生

おめでとう

6月21日～7月20日



食品衛生週間

8月6日～8月12日

ことで殆んど防げます。五、おにぎり等が原因の食中毒は、手指の化膿菌が原因です。傷がある場合は、特に注意が大切です。



結婚

おしあわせに

長谷山 忠誠 中通
佐藤 まり子 鳥海村
小松 宣夫 須郷田
相場 時子 本莊市

・お悔み申し上げます

阿部 清七 新町 81歳
小松スエノ 畑村 68歳